

学校組織としての 不祥事防止体制の確立

本校の課題

- 単学級のため、教材研究や授業準備を一人で行うことが多い。
- 職員同士で情報の共有を、さらに行う必要がある。

行動目標

- 共有できるデータ等は共有したりICTを活用したりして、教材研究、授業準備の不安や負担を軽減するようにする。
- 情報の共有を図る。

取組内容

- 校務分掌の仕事や行事等を精選して、業務改善を図る。
- 研修等の記録を残し、欠席者への伝達を確実にする。
- 「相談・連絡・報告」を徹底する。
- 日常的に成果や課題に対して、共有する場を設ける。

点検方法・時期

- 月に1回、不祥事防止委員会で情報交換を行う。

不祥事根絶のための安登小学校行動計画

呉市立安登小学校 作成責任者 校長 富藤 邦子



教職員の規範意識の確立

本校の課題

- 教育公務員としての自覚や使命感を、さらに高める必要がある。
- 研修は、教職員が計画、実施するものが中心であり、マンネリ傾向にある。

行動目標

- 服務研修の改善・充実を図る。(方法や内容等の見直し)
- 当事者意識をもって考える。

取組内容

- ICTを活用したり、参加型の活動を増やしたりして、実感を伴った研修を行う。
- 身の回りの整理整頓をする。

点検方法 時期

- 月に1回、不祥事防止委員会で取組の確認をし、必ず服務研修をする。

相談体制の充実

本校の課題

- 「体罰、セクシュアルハラスメント」等の相談窓口の周知を繰り返し行う必要がある。

行動目標

- 相談窓口等の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制づくりを行う。

取組内容

- 今まで以上に通信やホームページ、ポスター等で相談窓口の周知を図る。
- アンケート調査等を活用し定期的な各家庭との連携を通して情報を集め、問題の早期発見、早期解決に努める。

点検方法・時期

- 学期ごとに児童・保護者・職員を対象に、いじめ・体罰・セクハラ・パワハラについてのアンケートを実施する。